

接続 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすましてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。

万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子を外してください。

ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けである車では、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

電源配線についてのご注意

車種によって車両側の配線が細い(電流量不足)ため、エンジンアイドリング時にライトやエアコンを動作させると、正常に動作しないことがあります。この場合は、別売りの電源コードRC-39を使って電源配線することをおすすめします。

純正アンテナブースターの接続

車種(一部のバーアンテナ車種を含む)によっては、純正アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色コードを純正アンテナブースターに接続するか、アクセサリ電源から電源を取るようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、次のようなときにパワーアンテナが自動的に出ます。

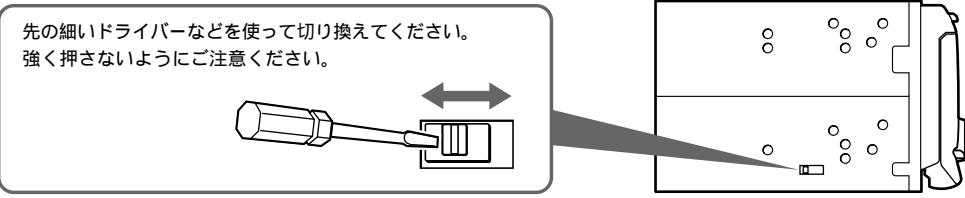
- TUNERボタンを押したとき
- FM文字多重放送を受信しているとき(WX-C60MDに別売りのFM文字多重放送ディスプレイユニット接続時)

初期設定が必要なスイッチ

アクセサリポジションのない車でお使いになる場合

ーパワーセレクトスイッチ

必ず本機側面にあるパワーセレクトスイッチを③の位置に合わせてください。本機のOFFボタンを押したときに、ボタンが点灯しないようにすることができます。また、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。



スイッチを切り換えたときは電源の接続をしたあとに、必ずリセットボタンを押してください。

アンテナ1本で受信する場合

通常1本のアンテナをお使いになる場合は、本機のアンテナコネクターのメインアンテナと表示されている(太い)方に車両側のアンテナを接続してください。サブアンテナコネクタ(細い方)に接続すると正しく受信できません。

FMをアンテナ2本(ダイバーシティシステム)で受信する場合(WX-C60MDのみ)

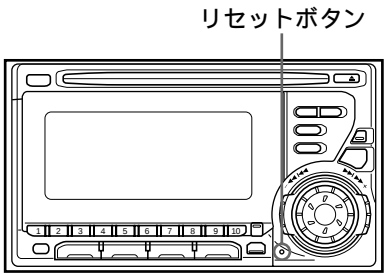
本機のアンテナコネクターのうち上のコネクタの方に車両側のサブアンテナを接続してください。自動的に本機のダイバーシティシステムが作動します。

ご注意

本機のダイバーシティアンテナは、トヨタ車のダイバーシティ対応車種の場合、そのまま接続してお使いになれます。他の車種でお使いになる場合は、別売りの変換アダプターが必要です。

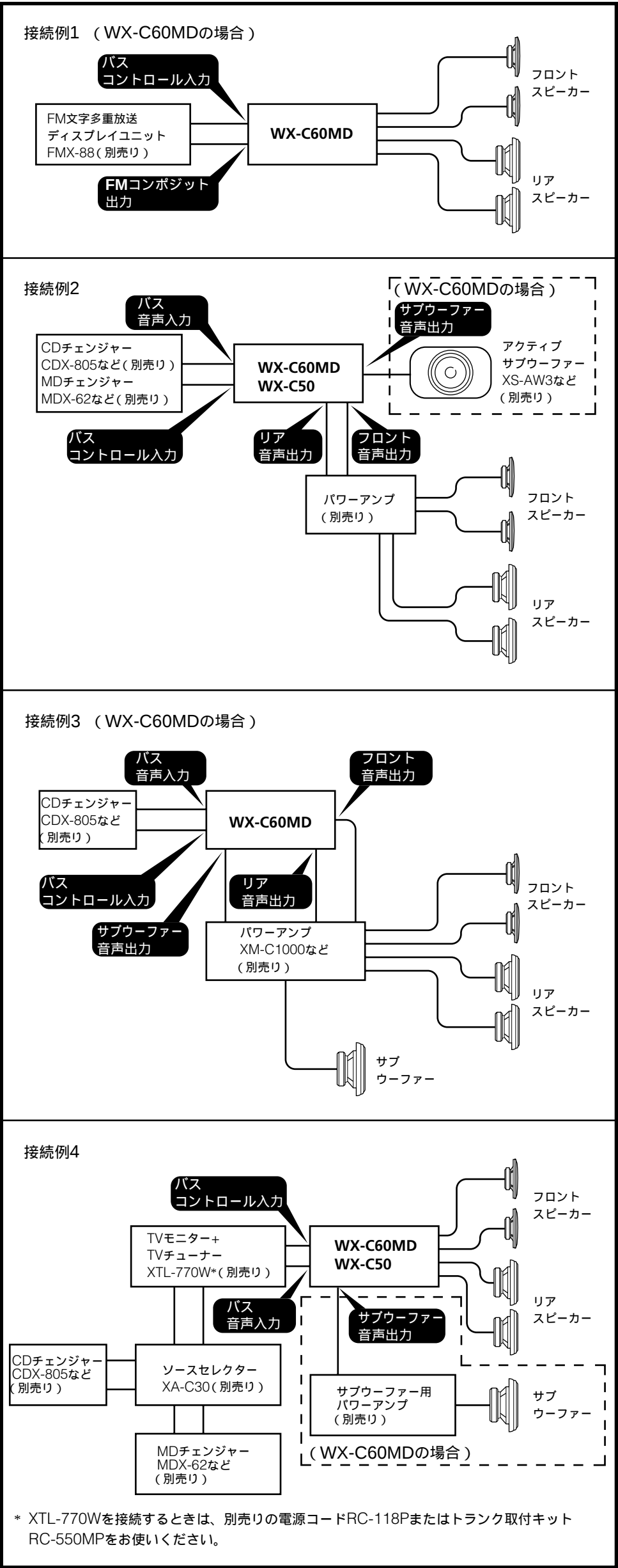
取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウinker、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 必ず、本体にあるリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因となります。



システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合は別売りのソースセクターXA-C30が必要です。



SONY

接続説明書

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

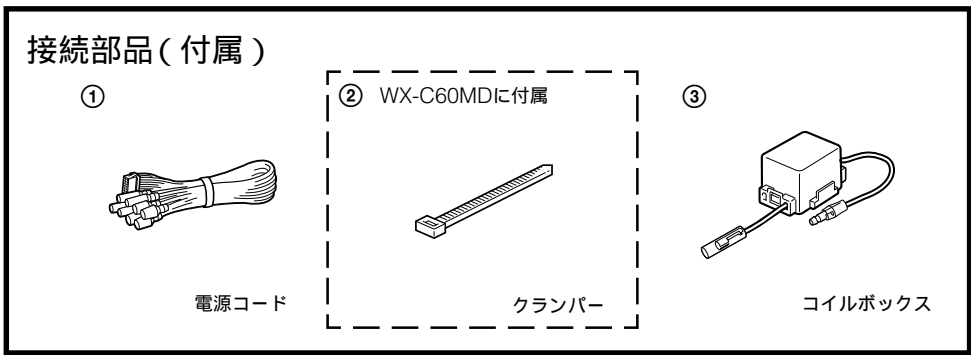
この接続説明書と取付説明書および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この接続説明書と別冊の取付説明書および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この接続説明書と別冊の取付説明書に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

WX-C60MD WX-C50

Sony Corporation © 1998 Printed in Japan



別売品	
ロータリーコマンダー(WX-C50)	パワーアンプ XM-C1000
RM-X4S	ソースセクター XA-C30
CDチェンジャー	バスケーブル(RCAピンコード付属)
CDX-805(10枚)	RC-61(1m)
CDX-715(10枚)	RC-62(2m)
CDX-T602(6枚)	バス延長コード RC-U305(0.5m)
CDX-T605(6枚)	RCAピンコード RC-63(1m) RC-64(2m)
MDチェンジャー MDX-62	RC-65(5m)
FM文字多重放送ディスプレイユニット* FMX-88	電源コード RC-39
モーターカラー-TV XTL-770W	
電源コード RC-118P	
トランク取付キットRC-550MP	
アクティブサブウーファー* XS-AW3	

*WX-C60MDのみ接続可能です。

ご注意

本機には別売りのデジタルブリアンプやイコライザーは接続できません。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川16-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

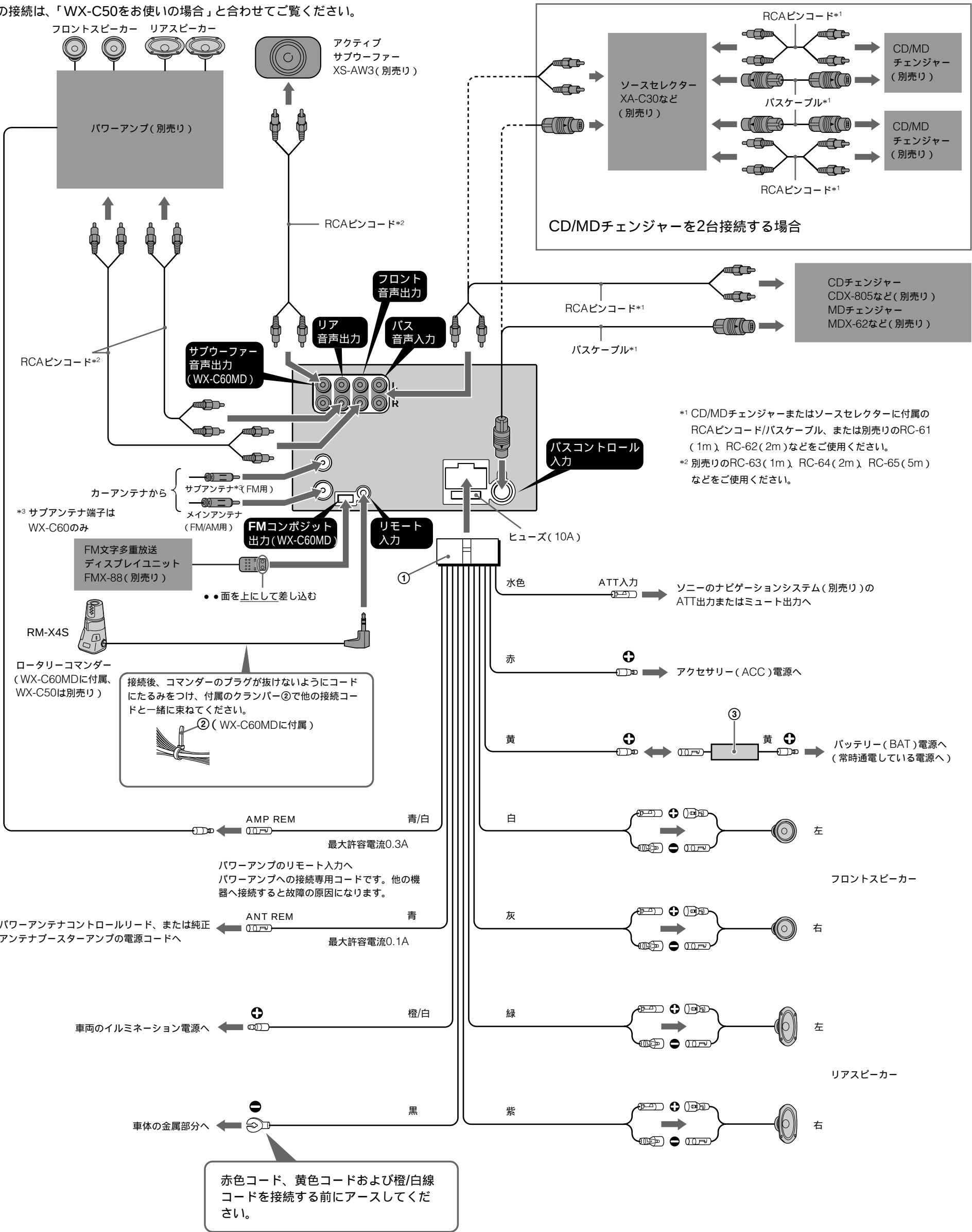
Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。



接続 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

イラストの接続は、WX-C60MDの接続を示しています。
WX-C50の接続は、「WX-C50をお使いの場合」と合わせてご覧ください。



電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ（ACC）電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ（ラジオ回路など）に接続します。
黄色コード	バッテリー（BAT）電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
青色コード	- パワーアンテナのコントロール出力コード ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。 - 純正アンテナブースターアンプの電源供給出力コード
青/白線コード	パワーアンプのコントロール出力コード（パワーアンプ専用）
橙/白線コード	イルミネーション電源入力コード 車のヘッドライト（スモールランプ）スイッチを入れたとき、本機のディスプレイが減光します。
水色コード	ATT入力コード ソニーのナビゲーションシステム（別売り）のATT出力またはミュート出力に接続します。

スピーカー

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4～8Ωのスピーカーをお使いください。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。許容入力の小さいスピーカーを使って音量を上げると、スピーカーを破損することがあります。
- スピーカーの⊕、⊖端子を車のシャーシなどに接続しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーコードどうしを接続しないでください。特に⊕端子どうし、⊖端子どうしを接続すると、故障の原因になります。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの⊖側が共通になっているものは使用できません。そのまま使うと故障の原因になります。
- 本機のスピーカーコードにスピーカーを接続しない場合は、コードには何も接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機のスピーカー出力にアクティブスピーカー（アンプ内蔵スピーカー）を接続すると、本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーの使用を避け、通常のスピーカーをお使いください。

ヒューズ

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側（純正ラジオ用バックアップ電源）のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しなくなります。

WX-C50をお使いの場合

WX-C50には、「サブウーファー音声出力」と「FMコンボジット出力」の端子がありません。右図を参照のうえ、接続してください。

